

牧之原市インディアカ協会ローカル部ルール

改正 2016/1/21三役・理事会議

項目	牧之原市ローカル部ルール		解説・備考
コート	高さ 大きさ ラインの幅 女子のサーブライン	<ul style="list-style-type: none"> 床から5mの高さまでは、障害物がないことが望ましい バトミントンのダブルスコート 横13.4m×縦6.1m(ラインの外外) 5cm(ラインの内内) 正規位置より1m手前とする。(正規位置でも可) 	
ネットの 高さ		2.24m ※ネットとポールとの隙間がないように張る。	
羽根		安全のため、羽根の先端に保護キャップをつける。 スポーツ安全保険対策のため。	
動作	サービス	<ul style="list-style-type: none"> アンダーサーブ 羽根を打つ手のひらが、腰の高さの下を通過しなければならない。 ラインを踏んだ場合アウト 	線審判定
	レシーブ	<ul style="list-style-type: none"> 両手で受けた場合アウト 	
	パス	<ul style="list-style-type: none"> 片手の手のひら(手袋をしても良い) 一人1回で、必ず3回で返さなければならない。 同じ人が2回触れてはならない。 掴んで返した場合ホールディング。 	
	スパイク	<ul style="list-style-type: none"> 打った瞬間両足が床面に離れネット上端より上の羽根を打ち下ろすことは許されない。 打った瞬間両足が床面に離れても羽根を打った位置より高くロビング、フェイントで返す場合は良い。 相手コートに返す場合ネット上を必ず通過すること。(ポールの外側を通過して入った場合はアウト) 後ろ向きで相手コートに返してもインプレー 	女性及び高齢者に配慮
	ブロック	<ul style="list-style-type: none"> なし 	
得点		<ul style="list-style-type: none"> ラリーポイント制15点先取 両者14点の場合でも15点先取とする。 親睦大会(男女混合:女性1名チーム可)は、各セット開始時のメンバー構成が相手チームより女性が1名多い場合は1セットにつき2点、2名多い場合は同じく3点、3名多い場合は4点のハンディキャップを与える。 羽根の白い部分がライン上に乗ればインプレーとする。 	時間短縮のためジュースを行わない
競技	羽根がネットに触れた場合	<ul style="list-style-type: none"> サーブはアウト 1回目、2回目はアウト 3回目はインプレー 	
	サーブ順	<ul style="list-style-type: none"> サーバーは提出したオーダー順に従ってサービスする。 同一サーバーが連続3点取得したときは、ローテーションして次のサーバーと交代する。ローテーションを誤った場合相手側の得点になりサーブが相手側に移る。 	
チーム 構成	構成人員	交代競技者を含め6名以内が望ましい。	
	交代競技者	<ul style="list-style-type: none"> 1セットにつき2名以内の交代ができるが、コートアウトした選手は同一セット内に復帰出来ない。 ハンディキャップを与えられたチームは当該セット中、女性から男性へのメンバー交代はできない。(女→女、男→男、男→女は可) タイムは主審に了解を得れば何度でも取れる。 試合中に怪我等のアクシデントが発生した場合、試合の継続可否(選手交代の特例等)については、ローカル部3役・主審・両チームキャプテンが協議の上決定する。(意見が割れた場合はローカル部長が最終判断する) 	